

製品名 クレイジースモール ATch S/N: AT

製品番号 CZSMATCH

開発製造 cooyou.org ホームページ <https://cooyou.org/atch>

お問い合わせ先 admininfo@cooyou.org

仕様

インターフェース	マイクロUSB USBバスパワーで動作
動作OS	Windows,macOS,Linux,Android,iOS,iPadOS 標準ドライバで動作 スマートフォンやタブレットはUSBホスト機能とOTGケーブルが必要です。iOS,iPadOS機はセルフパワーHブが必要かもしれません。スマホやタブレットはOTGケーブル経由で接続します。
ボタン	側面 A,B,C (USB近くからA、中央B、離れたC)
プリセット	A,B,Cの3つ。各ボタンで切り替え。 それぞれ感度、キー出力モードを設定可能 プリセットごとに最大3つのキー登録 初期値は以下: プリセットA* Enter プリセットB スペース プリセットC マウス左
設定項目	OS (*Windows,macOS) *が初期値 ゼロ点調整 感度(低感度、中感度、*高感度) キー出力モード(*押し続け、瞬間、連続) 連続時の時間間隔(*低速、中速、高速) オールリセット
登録キー	日本語キーボードのキー、マウスクリック
センサー	反射型赤外線 反応距離0cm～約3cm
ケース 色	ABS樹脂 黒
幅.奥行.高さ 重さ	38x46x19mm 20g
付属品	取扱説明書 * USBデータケーブルは付属しません
保証期間	6ヶ月

本体は主にプラスチック素材で出来ておりますので、強い力で押したり強い力で操作すると
破損の恐れがあります。保証外となりますのでご注意ください。

電源

接続先機器が起動状態で、本機にUSBケーブルを接続するとON,抜くとOFFとなります。充電専用ケーブルでは動作しませんのでご注意ください。

iOS,iPadOS機はバスパワーで動作しない可能性があります。セルフパワーHブが必要かもしれません。スマホやタブレットはOTGケーブル経由で接続します。



ゼロ点調整

センサーのゼロ点を設定します。

Cボタンを押しながら電源ONします。ボタンを離します。

センサー上空に障害物がない状態で再度Cボタンを押します。

その後、電源OFFします。設定は記憶されます。

通常の使用方法

センサー上空(約3cm以内)に指をかざすと(またはセンサーにタッチすると)、キーボード(またはマウスクリック)出力されます。A,B,Cの各ボタンを押すことでプリセットを選択できます。選択は記憶されますので、次回以降は側面ボタンを押す必要はありません。反応範囲はセンサー上0cm(接触)から3cm程度です。面積や素材にもよります。足や服や物でも反応します。

完全に電源をOFFするにはUSBケーブルを抜いてください。

※LED電球以外の光(特に太陽光、白熱灯)はセンサーの誤動作を起こしやすいです。ゼロ点調整を行うことで改善する場合があります。蛍光灯はゼロ点調整で安定動作する場合が多いです。感度設定を低感度にするほうが安定します。センサーに光が当たらないよう遮蔽する方法もご検討ください。暗所でも動作します。

OS設定

macOSでご利用の場合は、AボタンとBボタンの両方を押しながら電源ONします。ボタンを離します。

その後、電源OFFします。設定は記憶されます。

macOSの場合は、もう一度AボタンとBボタンの両方を押しながら電源ONします。ボタンを離します。

OSの画面上に設定画面が出ます。左シフトキー横の入力画面では、Aボタン、右シフトキー横の入力画面ではBボタンを押すと認識されます。

その後、電源OFFします。

Windowsご利用の場合は、Bボタンを押しながら電源ONします。ボタンを離します。

電源OFFします。設定は記憶されます。(Windows用が初期設定のため、通常は設定不要です)

感度 (現在選択しているプリセットに対して設定されます)

BボタンとCボタンの両方を押しながら電源ONします。ボタンを離します。

Aボタンを押すと低感度、Bボタンを押すと中感度、Cボタンを押すと高感度です。どれかを押します。(初期設定は高感度となってます)

その後、電源OFFします。設定は記憶されます。

(反応最大距離の目安 : 低感度1.5cm、中感度2cm、高感度3cm)

キー出力モード (現在選択しているプリセットに対して設定されます)

AボタンとCボタンの両方を押しながら電源ONします。ボタンを離します。

Aボタンを押すと「押し続け」モード、Bボタンを押すと「瞬間」モード、Cボタンを押すと「連続」モードとなります。

どれかを押して下さい。設定は記憶されます。

「連続」を選択した場合は続けて時間間隔を設定します。

Aボタンを押すと低速、Bボタンを押すと中速、Cボタンを押すと高速となります。どれかを押して下さい。

その後電源OFFします。設定は記憶されます。

以下ではキー押下(プレス) キー離す(リリース)と表記します。

3つのキーが登録されているものとして説明します。登録が無い場合は処理をスキップします。

「押し続け」

センサー範囲に入ると、1プレス、2プレス、3プレス

センサー範囲から出ると、3リリース、2リリース、1リリースとなります。

「瞬間」

センサー範囲に入ると、

1プレス、2プレス、3プレス、3リリース、2リリース、1リリースとなります。センサー範囲から出た時は何も行われません。

「連続」

センサー範囲に入ると、

1プレス、1リリース、2プレス、2リリース、3プレス、3リリースとなります。センサー範囲から出た時は何も行われません。

プレスとリリース間に短い時間間隔、リリースとプレス間には長い時間間隔が入ります。

※macOSの場合、OSの仕様上、別のキーボードと跨いだ連携の制約があります。

単体ではCommand+Cのような動作は可能ですが、Command押下で出力後、他キーボードでCを合成するということが標準では出来ません。
サポート外ですが、Karabinerソフトの導入をご検討ください。

登録キー (現在選択しているプリセットに対して設定されます)

次ページのキーボード図の番号を登録できます。

基本的にはWindows用となります。macOS設定の場合は青字の変更が相当します。0番は登録なしとなり、113,114,115はマウスクリック用です。

番号をキーボード出力して確認しながら設定しますので、OSの画面でメモ帳などのエディタを開いてください。英数字を直接入力できるようにしてください。

Aボタンを押しながら電源ONします。ボタンを離します。

すると、現在の番号が出力されます。

例えば、A,L,1 100 のように出力されます。プリセットAの1番目のキー登録に100番(スペースキーに相当)が設定されています。という意味です。

(プリセットAまたはBまたはC) ,L, (1または2または3番目) (登録番号)

Aボタンを押すごとに登録番号が+10されます。Bボタンを押すごとに1の位が+1されます。押すごとに情報が出力されます。最大値を超えると桁が0に戻ります

(変更しない場合はA,Bボタンを押す必要はありません)

登録番号はボタンを押した時点で変更が記憶されます。

電源はいつでもOFFにできます。

登録番号が決まつたら、次にCボタンを押すと2番目のキーの登録が出来ます。

同様に、A、Bボタンで番号を決定後、Cボタンを押すと3番目のキー登録ができます。A、Bボタンで番号を決定します。

途中で電源はいつでもOFFにできます。

3番目まで登録されると次はなにも設定しません。電源OFFしてください。

オールリセット

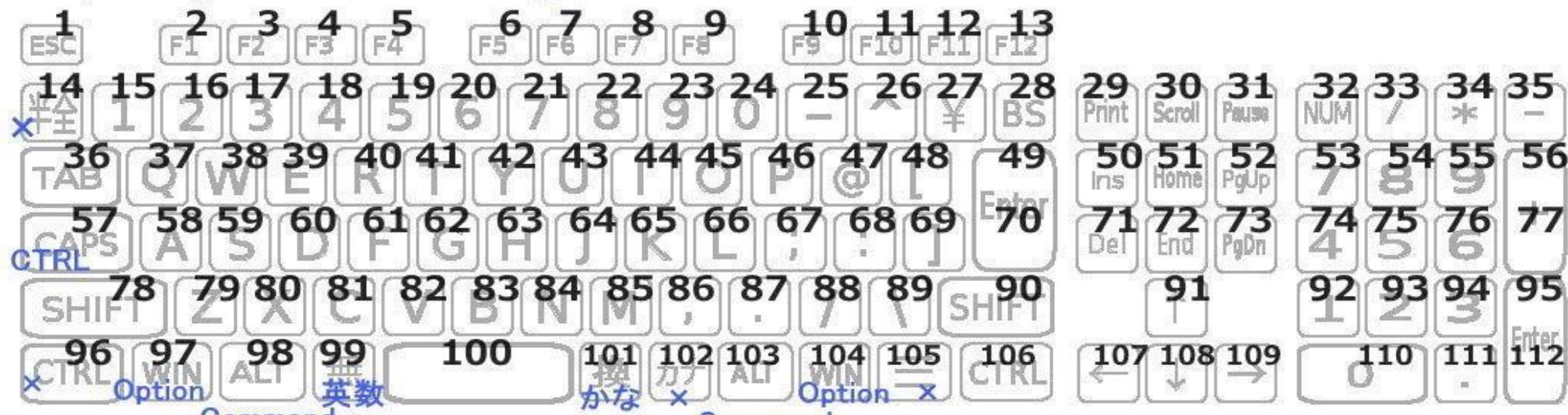
出荷時の設定に戻すことができます。

A、B、Cの全てのボタンを押しながら電源ONします。ボタンを離します

オールリセットされましたので、電源OFFします。ゼロ点調整を行ってから運用してください。

0 (None)

macOS — 青字



Mouse Button : 113 (Left) 114 (Right) 115(Middle)

- A** Preset A Enter(49)
 - B** Preset B Space(100)
 - C** Preset C Mouse Left(113)

